

2026 (令和 8) 年度入学試験問題

地 理

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題の本文は全部で13ページです。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
6. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
 - (2) 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下のマーク欄を正確にマークすること。
マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
 - (3) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
 - (4) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
 - (5) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
 - (6) 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の(例)のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

(例) ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

- I 鉱産資源やエネルギーに関する次の文章を読んで以下の設問に答えなさい。なお、鉱産資源・エネルギー資源の産出量および発電量の内訳の各データは、「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」に基づいている。

現代の工業には欠かせない鉄鉱石の産出量をみると、2021年においてオーストラリア、、中国の上位3か国で世界全体の約65%を産出している。ヨーロッパにも、たとえばスウェーデンのなどの鉄山があるが、かつて隣国ドイツとの間で領有をめぐる紛争がみられたフランスのロレーヌ地方の鉄山は、前世紀末に閉山となった。

鉄鉱石と同様に広く用いられる銅鉱については、2020年においてはが最も多く産出している。またアルミニウムも軽くて錆びにくいことから現代の工業において不可欠であるが、原料のは、2021年においてオーストラリア、中国の2か国で世界全体の約半分を産出している。

また各種先端技術産業の発達に伴い重要度が増しているレアメタルも、特定の国に偏在しているケースがみられる。たとえばコバルト鉱は、2019年において約7割がで産出されている。

アルミニウムの精錬には多くの電力が必要であるなど、工業とエネルギー資源は不可分である。石炭は産業革命以降広く使われるようになり、20世紀に石油や天然ガスの利用が増えた後もその有用性は変わっておらず、近年も産出量は増え続けている。石炭の産出量は近年とくににおいて増加しており、2000年から2021年にかけて3倍以上となっている。

かつて西アジアの石油産出は石油メジャーに独占されていたが、その後産油国の中で資源を自国で管理、開発しようという資源ナショナリズムの動きが高まり、1960年に石油輸出国機構が結成された。その後、同機構が石油の供給制限や輸出価格の引き上げを行ったところ、中東情勢の不安定化もあって石油価格が高騰し、オイルショックとも呼ばれた。今世紀に入ると新興国の需要増加などで石油価格はさらに上昇したが、近年の技術の進歩により、頁岩中の石油、すなわちオイルの採掘が可能となったことなどから、その後石油価格はやや落ち着いている。またオイルの産出が盛んとなったアメリカ合衆国が世界最

大の原油産出国となり、2000年に産出量世界第1位であった **く** は、2022年には世界第2位となっている。

近年は再生可能エネルギーの普及も進んでいる。各国の発電量の内訳をみると、**け** では再生可能エネルギー（水力を除く）による発電量の割合が4割を超えている。

問1 文中の空欄 **あ** に当てはまる最も適切な国名を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **1** にマークしなさい。

- ① アメリカ合衆国
- ② ブラジル
- ③ ロシア
- ④ カナダ

問2 文中の空欄 **い** に当てはまる最も適切な地名を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **2** にマークしなさい。

- ① メサビ
- ② イタピラ
- ③ キルナ
- ④ カラジャス

問3 文中の空欄 **う** に当てはまる最も適切な国名を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **3** にマークしなさい。

- ① インドネシア
- ② ペルー
- ③ チリ
- ④ メキシコ

問4 文中の空欄 **え** に当てはまる最も適切な語句を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **4** にマークしなさい。

- ① すず鉱
- ② ニッケル鉱
- ③ タングステン鉱
- ④ ボーキサイト

問5 文中の空欄 **お** に当てはまる最も適切な国名を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **5** にマークしなさい。

- ① コンゴ民主共和国
- ② フィリピン
- ③ 南アフリカ共和国
- ④ ボリビア

問6 文中の空欄 **か** に当てはまる最も適切な国名を、次の①～④から一つ
 選び、解答欄 **6** にマークしなさい。

- ① 中国
- ② アメリカ合衆国
- ③ 南アフリカ共和国
- ④ オーストラリア

問7 文中の下線部の組織について、その略称は何か。最も適切なものを、次の
 ①～④から一つ選び、解答欄 **7** にマークしなさい。

- ① OECD
- ② GATT
- ③ OPEC
- ④ IPCC

問8 文中の空欄 **き** に当てはまる最も適切な語句を、次の①～④から一つ
 選び、解答欄 **8** にマークしなさい。

- ① ハイドレート
- ② ソーラー
- ③ バイオマス
- ④ シェール

問9 文中の空欄 **く** に当てはまる最も適切な国名を、次の①～④から一つ
 選び、解答欄 **9** にマークしなさい。

- ① イラク
- ② サウジアラビア
- ③ イラン
- ④ クウェート

問10 文中の空欄 **け** に当てはまる最も適切な国名を、次の①～④から一つ
 選び、解答欄 **10** にマークしなさい。

- ① イギリス
- ② カナダ
- ③ オーストラリア
- ④ トルコ

II 図1をみながら，以下の設問に答えなさい。

※図1については著作権の関係により掲載できません。

図1

問1 図1中の(イ)国の首都は，ケッペンの気候区分でどの気候区に区分されるか。最も適切なものを，次の①～④から一つ選び，解答欄 **11** にマークしなさい。

- | | |
|-----------|----------|
| ① 西岸海洋性気候 | ② ステップ気候 |
| ③ 地中海性気候 | ④ 温暖湿潤気候 |

問6 図1中の(㉞)国では、ある農産品の生産量が2022年において394万トンと世界各国中最多となっている(「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」に基づく)。この農産品として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄 **16** にマークしなさい。

- ① オリーブ
- ② トマト
- ③ とうもろこし
- ④ ぶどう

問7 近年ではヨーロッパの国々では第1次産業に従事する人の割合は少なくなってきたが、(イ)(エ)(㉞)国のうち、2022年においても第1次産業人口の割合が18.0%(「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」に基づく)と比較的高い国はどこか。最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄 **17** にマークしなさい。

- ① (イ)国
- ② (エ)国
- ③ (㉞)国
- ④ (㉟)国

問8 ロンドンからライン川流域、さらには北イタリアに至る工業が発達したエリアの名称として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄 **18** にマークしなさい。

- ① サンベルト
- ② ブルーバナナ
- ③ マキラドーラ
- ④ シリコンプレーン

問9 (㉟)国のルール工業地域を構成する都市で、炭田を背景に鉄鋼、機械などの工業が発達した都市の名称として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄 **19** にマークしなさい。

- ① マインツ
- ② シュツットガルト
- ③ エッセン
- ④ ヴォルフスブルク

問10 図1中の(ア)(イ)(ク)(サ)国のうち、2025年現在EUに加盟している国はどこか。

最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄 **20** にマークしなさい。

- ① (ア)国
- ② (イ)国
- ③ (ク)国
- ④ (サ)国

Ⅲ 人口問題に関する次の文章を読んで以下の設問に答えなさい。

世界の人口は2022年に80億人を超え、今後も当面は増え続けるとみられる。20世紀後半以降、人口はとくに大きく増加し、1960年から2022年までの期間に 億人増加している。地域別にみるととくにアジアの増加率が大きい。ロシアのアジア部分を除くなど、アジア47か国の面積と人口をそれぞれ合計したものをみると（「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」世界の国一覧による）、面積は世界の約 を占めるが、人口は約 を占めている。ただし近年ではアジアの人口増加は落ち着いてきており、代わってアフリカの増加率が高くなってきている。

国別にみると、いまなお増加が続く国が多いが、減少に転じた国も目立つようになってきている。国勢調査の結果から日本の総人口をみると、 年がピークであった。人口が最も多い国は2023年時点でインドであり、次いで中国となっている。また第3位は で約3億4千万人となっている。アフリカにも人口の多い国が目立っており、コンゴ民主共和国の人口が近年1億人を超えたことで、「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」に基づけば、2023年現在人口が1億人を超える国はアフリカに か国ある。

各国においてある時期に人口増加率が大きくなるのは、人口 のプロセスを経るためである。これは各国において死亡率が先に低下し、出生率が後から低下するため、出生率が高く死亡率が低い多産少死の局面において人口増加率が大きくなる、というものである。

近年では先進国を中心に出生率の低下が目立ってきている。現在の先進国では、長期的に人口を維持するために必要な合計特殊出生率の値は2.1であるが、「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」によれば、G7の国々、すなわち、日本、アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、イタリア、ドイツ、フランスの2022年の合計特殊出生率については、 。またアジア各国でも日本と同様出生率が低下を続けており、同資料によれば2022年の韓国の合計特殊出生率は となっている。

年齢別に人口をみる場合には、年少人口、生産年齢人口、老年人口に3区分す

ることが多い。年少人口は (c) 歳未満，生産年齢人口は (c) 歳以上 (d) 歳未満，老年人口は (d) 歳以上である。2020年の国勢調査の結果（不詳補完値）をもとに日本の総人口に占める割合をみると，年少人口は11.9%，生産年齢人口は59.5%，老年人口は28.6%であった。また老年人口割合を都道府県別にみると，最も高かったのは () (37.5%) であった。

問1 文中の空欄 (あ) に当てはまる最も適切な数値を，次の①～④から一つ選び，解答欄 21 にマークしなさい。

- ① 20 ② 30 ③ 40 ④ 50

問2 文中の空欄 (a) ， (b) に当てはまる最も適切な語句の組み合わせを，次の①～④から一つ選び，解答欄 22 にマークしなさい。

- ① (a) : 4分の1 (b) : 4割
 ② (a) : 4分の1 (b) : 6割
 ③ (a) : 3分の1 (b) : 4割
 ④ (a) : 3分の1 (b) : 6割

問3 文中の空欄 (い) に当てはまる最も適切な数値を，次の①～④から一つ選び，解答欄 23 にマークしなさい。

- ① 2000 ② 2005 ③ 2010 ④ 2015

問4 文中の空欄 (う) に当てはまる最も適切な国名を，次の①～④から一つ選び，解答欄 24 にマークしなさい。

- ① ロシア ② パキスタン
 ③ アメリカ合衆国 ④ インドネシア

問5 文中の空欄 (え) に当てはまる最も適切な数値を，次の①～④から一つ選び，解答欄 25 にマークしなさい。

- ① 2 ② 3 ③ 4 ④ 5

問6 文中の空欄 **お** に当てはまる最も適切な語句を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **26** にマークしなさい。

- ① 移動 ② 原理 ③ 超過 ④ 転換

問7 文中の空欄 **か** に当てはまる最も適切な文を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **27** にマークしなさい。

- ① 2.1以上の国は一つもない
 ② アメリカ合衆国のみが2.1を上回っている
 ③ フランスのみが2.1を上回っている
 ④ アメリカ合衆国とフランスが2.1を上回っている

問8 文中の空欄 **き** に当てはまる最も適切な数値を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **28** にマークしなさい。

- ① 0.78 ② 1.08 ③ 1.38 ④ 1.68

問9 文中の空欄 **(c)** , **(d)** に当てはまる最も適切な数値の組み合わせを、次の①～④から一つ選び、解答欄 **29** にマークしなさい。

- ① **(c)** : 20 **(d)** : 65
 ② **(c)** : 20 **(d)** : 75
 ③ **(c)** : 15 **(d)** : 65
 ④ **(c)** : 15 **(d)** : 75

問10 文中の空欄 **く** に当てはまる最も適切な都道府県名を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **30** にマークしなさい。

- ① 北海道 ② 秋田県 ③ 鳥取県 ④ 鹿児島県

IV 次の表は、南米大陸の南緯10度以南に首都が位置する国々について、面積などのデータを示したものである。この表をみながら以下の設問に答えなさい。

※表については著作権の関係により掲載できません。

資料：データブック オブ・ザ・ワールド2025年版

問1 表中のB国、C国、E国に当てはまる最も適切な国名を、次の①～⑤から一つずつ選び、B国については解答欄 **31** に、C国については解答欄 **32** に、E国については解答欄 **33** にそれぞれマークしなさい。

- ① チリ ② ポリビア ③ ペルー
- ④ アルゼンチン ⑤ ウルグアイ

問2 アマゾン川流域に広がる熱帯雨林の名称は何か。最も適切な語句を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **34** にマークしなさい。

- ① セルバ ② リャノ ③ セラード ④ パンパ

問3 ブラジルには多くの大都市があるが、このうちアマゾン川流域にあり、自由貿易地区が設けられたことなどから製造業の発展がみられる都市はどこか。最も適切な都市名を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **35** にマークしなさい。

- ① ベロオリゾンテ ② ポルトアレグレ
③ マナオス (マナウス) ④ フォルタレーザ

問4 ブラジルにおいて近年大きく生産量が増えており、「データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版」によれば2022年には同国で1億2,070万トンが生産されている作物は何か。最も適切な作物名を、次の①～④から一つ選び、解答欄 **36** にマークしなさい。

- ① ばれいしょ ② 大豆 ③ コーヒー豆 ④ カカオ豆

問5 表中のB国、C国、D国、E国のうち、リチウムの埋蔵量が豊富なことで知られるウニ塩原がある国はどこか。最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄 **37** にマークしなさい。

- ① B国 ② C国 ③ D国 ④ E国

問6 表中の各国で用いられる言語について述べた文として正しいものはどれか。最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、解答欄 **38** にマークしなさい。

- ① 表中の7か国すべてにおいてスペイン語が公用語となっている。
② 表中の7か国のうち、ブラジルではポルトガル語が公用語であり、他の6か国ではスペイン語が公用語となっている。
③ 表中の7か国のうち、ブラジルとA国ではポルトガル語が公用語であり、他の5か国ではスペイン語が公用語となっている。
④ 表中の7か国のうち、ブラジルとD国ではポルトガル語が公用語であり、他の5か国ではスペイン語が公用語となっている。

